

## 令和2年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

令和2年4月14日

上場会社名 株式会社エスケイジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 7608 URL https://www.sk-japan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 石井 正則 TEL 03-6660-5005  
 定時株主総会開催予定日 令和2年5月28日 配当支払開始予定日 令和2年5月29日  
 有価証券報告書提出予定日 令和2年5月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和2年2月期の連結業績（平成31年3月1日～令和2年2月29日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年2月期	6,605	△3.7	609	△22.5	611	△22.8	527	△23.6
31年2月期	6,858	27.4	787	139.7	792	138.8	690	38.0

(注) 包括利益 2年2月期 526百万円 (△23.8%) 31年2月期 691百万円 (40.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2年2月期	63.04	—	17.1	16.6	9.2
31年2月期	82.66	—	27.4	25.6	11.5

(参考) 持分法投資損益 2年2月期 一百万円 31年2月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年2月期	3,901	3,318	85.1	394.82
31年2月期	3,454	2,837	82.1	339.65

(参考) 自己資本 2年2月期 3,318百万円 31年2月期 2,837百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度に係る財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値としております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2年2月期	362	△96	△67	2,297
31年2月期	671	△32	△50	2,099

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
31年2月期	—	3.00	—	4.00	7.00	58	8.5	2.3
2年2月期	—	4.00	—	6.00	10.00	83	15.9	2.7
3年2月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00		82.3	

(注) 令和2年2月期期末配当金の内訳 普通配当4円 30周年記念配当2円

### 3. 令和3年2月期の連結業績予想（令和2年3月1日～令和3年2月28日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△21.3	100	△83.6	100	△83.7	82	△84.5	9.72

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2年2月期	8,490,103株	31年2月期	8,490,103株
2年2月期	84,142株	31年2月期	135,186株
2年2月期	8,367,471株	31年2月期	8,354,976株

(参考) 個別業績の概要

1. 令和2年2月期の個別業績（平成31年3月1日～令和2年2月29日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年2月期	6,570	△3.2	603	△22.2	606	△22.3	522	△23.1
31年2月期	6,790	26.4	776	135.8	780	134.9	678	35.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2年2月期	62.39	—
31年2月期	81.27	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2年2月期	3,884		3,302	85.0			392.86	
31年2月期	3,439		2,826	82.2			338.30	

(参考) 自己資本 2年2月期 3,302百万円 31年2月期 2,826百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当事業年度の期首から適用しており、前事業年度に係る財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値としております。

2. 令和3年2月期の個別業績予想（令和2年3月1日～令和3年2月28日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	5,100	△22.4	103	△83.0	85	△83.7	10.07	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	17
(1) 貸借対照表 .....	17
(2) 損益計算書 .....	19
(3) 株主資本等変動計算書 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、昨年まで企業収益や雇用環境の改善によって緩やかな景気回復基調があった一方で、消費税率引上げによる消費環境の悪化と新たに発生した「新型コロナウイルス」の感染が全世界で日を追うごとに急拡大し経済への影響が深刻化している事から、依然として先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

このような中、当社グループは前期の実績を下回るものの、売上高は、6,605百万円（前期比3.7%減）、営業利益は609百万円（前期比22.5%減）、経常利益は611百万円（前期比22.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は527百万円（前期比23.6%減）と、それぞれ前回修正の業績予想を上回る結果となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

## &lt;キャラクターエンタテインメント事業&gt;

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、「星のカービィ」「ドラえもん」「シャクレルプラネット」「忠犬もちしば」等の定番キャラクターは堅調に推移しましたが、別注の菓子商品の販売が苦戦した影響もあり、売上高4,478百万円（前期比7.8%減）、営業利益551百万円（前期比20.5%減）となりました。

## &lt;キャラクター・ファンシー事業&gt;

キャラクター・ファンシー事業におきましては、「ドラえもん」「スヌーピー」等の定番キャラクター商品が苦戦したものの、自社オリジナルキャラクターの「忠犬もちしば」や「ポケットモンスター」等のゲーム関連キャラクター商品の販売は堅調に推移し、専用ECサイトでの「もちもちマスコット」シリーズと「鬼滅の刃」商品の販売が好調でした。その結果、売上高は2,127百万円（前期比6.4%増）となったものの、営業利益は販管費の上昇により58百万円（前期比37.4%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は3,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ394百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が197百万円、受取手形及び売掛金が77百万円、電子記録債権が52百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は240百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が40百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、3,901百万円となり、前連結会計年度末に比べ447百万円増加いたしました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は538百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が62百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は44百万円となり、前連結会計年度末から大きな変動はありませんでした。

この結果、負債合計は、582百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は3,318百万円となり、前連結会計年度末に比べ481百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益527百万円を計上した一方、減少要因として剰余金の配当66百万円を行ったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は85.1%（前連結会計年度末は82.1%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加等の要因により一部相殺されたものの、税金等調整前当期純利益があったこと等により、前連結会計年度末に比べ197百万円増加し、当連結会計年度末には2,297百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、362百万円（前年同期は671百万円の獲得）となりました。

これは主に、売上債権の増加額130百万円があったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前当期純利益611百万円があったこと等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、96百万円（前年同期は32百万円の使用）となりました。

これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出93百万円があったこと等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、67百万円（前年同期は50百万円の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払額66百万円があったこと等によるものであります。

## キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成30年2月期	平成31年2月期	令和2年2月期
自己資本比率（％）	80.2	82.1	85.1
時価ベースの自己資本比率（％）	219.3	170.3	72.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー（利息及び法人税等控除前）

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー（利息及び法人税等控除前）／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フロー（利息及び法人税等控除前）は、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー（利息の支払額及び法人税等の支払額控除前）を使用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、昨年までの「企業収益の向上」「雇用・所得環境の改善」等による緩やかな回復基調から、年明けの「人手不足による物流費の高止まり」と「消費税増税後の消費環境の悪化が顕在化」したことに加え、2月以降の「新型コロナウイルス」の世界的な感染拡大が国内外の経済に深刻な影響を及ぼすことが確実となり、当業界もその影響から逃れる事はできないと予想しております。このような状況の中でも当社は「中期経営計画（3ヵ年計画）の3年目」として、お客様のニーズを創造した「商品開発」および「サービス向上」に注力するための体制を構築し、個々の社員のさらなるレベルアップとマネジメント体制の強化にも全力を挙げて取り組んでまいります。

次期の連結業績予想につきましては、連結売上高5,200百万円、営業利益100百万円、経常利益100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益82百万円を予想しております。また個別の業績予想につきましては、売上高5,100百万円、経常利益103百万円、当期純利益85百万円を予想しております。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は「新型コロナウイルス」を中心とした様々な要因によって異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

配当政策につきましては、一定のROE(自己資本当期純利益率)の確保と株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけています。そして安定かつ継続的な配当を実施するとともに、極めて変化の激しいキャラクター業界の将来の備えとして、内部留保は優秀な人材の確保と新商品の開発投資等に活用いたします。当期の期末配当金につきましては、期初の公表値1株当たり4円の普通配当に創立30周年記念配当2円を加えた6円、中間配当金1株当たり4円を含めた年間配当金は10円を実施する予定といたしました。

また次期の配当金につきましては、中間配当金は普通配当1株当たり4円、期末配当は1株当たり4円、年間配当金は1株当たり8円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年2月28日)	当連結会計年度 (令和2年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,099,365	2,297,032
受取手形及び売掛金	669,667	747,081
電子記録債権	225,955	278,584
商品	201,764	242,604
その他	69,653	96,037
貸倒引当金	△207	△215
流動資産合計	3,266,199	3,661,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△9,579	△13,808
建物及び構築物（純額）	5,117	888
車両運搬具	1,119	-
減価償却累計額	△934	-
車両運搬具（純額）	184	-
建設仮勘定	7,418	-
その他	111,297	156,585
減価償却累計額	△98,992	△124,522
その他（純額）	12,305	32,062
有形固定資産合計	25,025	32,951
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	44,053	44,645
破産更生債権等	12,668	6,036
退職給付に係る資産	45,901	42,796
繰延税金資産	47,719	55,253
その他	13,577	11,993
貸倒引当金	△12,668	△6,036
投資その他の資産合計	151,252	154,688
固定資産合計	188,170	240,453
資産合計	3,454,369	3,901,579

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成31年2月28日)	当連結会計年度 (令和2年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	236,702	290,994
未払金	130,271	108,220
未払費用	27,683	29,636
未払法人税等	106,790	44,198
賞与引当金	19,600	22,260
その他	50,964	43,353
流動負債合計	572,013	538,662
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	—	907
その他	44,641	43,175
固定負債合計	44,641	44,082
負債合計	616,655	582,745
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	492,935	494,622
利益剰余金	1,922,816	2,383,450
自己株式	△51,678	△32,184
株主資本合計	2,826,070	3,307,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,863	12,684
繰延ヘッジ損益	495	1,115
為替換算調整勘定	△2,715	△2,850
その他の包括利益累計額合計	11,643	10,949
純資産合計	2,837,714	3,318,834
負債純資産合計	3,454,369	3,901,579



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成30年3月1日 至 平成31年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日)
売上高	6,858,780	6,605,637
売上原価	4,597,874	4,405,555
売上総利益	2,260,905	2,200,082
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	348,712	345,463
貸倒引当金繰入額	△1,555	△201
給料及び手当	454,517	509,303
賞与引当金繰入額	19,600	22,260
福利厚生費	103,406	117,082
退職給付費用	13,192	21,516
執行役員退職慰労引当金繰入額	—	907
減価償却費	36,616	45,870
その他	499,273	527,913
販売費及び一般管理費合計	1,473,764	1,590,116
営業利益	787,141	609,966
営業外収益		
受取利息	36	88
受取配当金	710	805
為替差益	3,145	—
賃貸収入	1,042	1,245
その他	205	484
営業外収益合計	5,140	2,623
営業外費用		
為替差損	—	651
投資有価証券売却損	69	—
その他	1	4
営業外費用合計	71	656
経常利益	792,210	611,933
特別利益		
固定資産売却益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産売却損	162	127
固定資産除却損	770	0
特別損失合計	933	127
税金等調整前当期純利益	791,281	611,806
法人税、住民税及び事業税	114,243	91,708
法人税等調整額	△13,612	△7,376
法人税等合計	100,631	84,332
当期純利益	690,650	527,473
親会社株主に帰属する当期純利益	690,650	527,473

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成30年3月1日 至 平成31年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日)
当期純利益	690,650	527,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,517	△1,179
繰延ヘッジ損益	9,984	619
為替換算調整勘定	△468	△135
その他の包括利益合計	999	△694
包括利益	691,649	526,778
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	691,649	526,778
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成30年3月1日 至平成31年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	461,997	492,935	1,282,296	△51,564	2,185,665
当期変動額					
剰余金の配当			△50,130		△50,130
親会社株主に帰属する当期純利益			690,650		690,650
自己株式の取得				△114	△114
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	640,519	△114	640,404
当期末残高	461,997	492,935	1,922,816	△51,678	2,826,070

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	22,381	△9,489	△2,247	10,644	2,196,310
当期変動額					
剰余金の配当					△50,130
親会社株主に帰属する当期純利益					690,650
自己株式の取得					△114
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△8,517	9,984	△468	999	999
当期変動額合計	△8,517	9,984	△468	999	641,404
当期末残高	13,863	495	△2,715	11,643	2,837,714

当連結会計年度（自平成31年3月1日 至令和2年2月29日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	461,997	492,935	1,922,816	△51,678	2,826,070
当期変動額					
剰余金の配当			△66,839		△66,839
親会社株主に帰属する当期純利益			527,473		527,473
自己株式の取得				△26	△26
自己株式の処分				19,520	19,520
自己株式処分差益		1,686			1,686
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計	－	1,686	460,634	19,494	481,814
当期末残高	461,997	494,622	2,383,450	△32,184	3,307,884

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	13,863	495	△2,715	11,643	2,837,714
当期変動額					
剰余金の配当					△66,839
親会社株主に帰属する当期純利益					527,473
自己株式の取得					△26
自己株式の処分					19,520
自己株式処分差益					1,686
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	△1,179	619	△135	△694	△694
当期変動額合計	△1,179	619	△135	△694	481,119
当期末残高	12,684	1,115	△2,850	10,949	3,318,834

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成30年3月1日 至 平成31年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	791,281	611,806
減価償却費	36,616	45,870
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,420	2,660
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	907
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,555	△6,624
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	540	3,105
受取利息及び受取配当金	△746	△894
固定資産売却損益(△は益)	157	127
投資有価証券売却損益(△は益)	69	—
売上債権の増減額(△は増加)	△110,032	△130,366
たな卸資産の増減額(△は増加)	△66,015	△40,877
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,201	56,085
未払金の増減額(△は減少)	27,699	△24,937
その他	55,244	△6,995
小計	726,479	509,867
利息及び配当金の受取額	746	894
法人税等の支払額	△55,471	△148,432
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>671,754</b>	<b>362,328</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△2,136	△2,201
投資有価証券の売却による収入	50	—
有形固定資産の取得による支出	△24,996	△41,486
有形固定資産の売却による収入	95	18
無形固定資産の取得による支出	△5,985	△52,221
差入保証金の差入による支出	—	△1,075
差入保証金の回収による収入	—	188
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△32,973</b>	<b>△96,778</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△114	△26
配当金の支払額	△49,900	△66,407
その他	△966	△966
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△50,982</b>	<b>△67,400</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	668	△482
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>588,467</b>	<b>197,666</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,510,898	2,099,365
現金及び現金同等物の期末残高	2,099,365	2,297,032

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。）を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更するとともに、税効果会計関係注記を変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が67,676千円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が67,676千円増加しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が19,957千円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、(株)エスケイジャパン、SKJ USA, INC. の2事業会社を軸として展開しており、以下の事業内容に基づき「キャラクターエンタテインメント事業」、「キャラクター・ファンシー事業」の2つを報告セグメントとしております。

## &lt;キャラクターエンタテインメント事業&gt;

主として、キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー等を国内外のアミューズメント施設へ販売する事業及び企業の販売促進商品を企画販売する事業であります。

## &lt;キャラクター・ファンシー事業&gt;

キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー等を雑貨専門店や量販店等へ販売する事業であります。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

また、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度のセグメント資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成30年3月1日 至 平成31年2月28日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	キャラクターエンタテインメント事業	キャラクター・ファンシー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,859,336	1,999,443	6,858,780	—	6,858,780
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,209	103	2,313	(2,313)	—
計	4,861,546	1,999,547	6,861,093	(2,313)	6,858,780
セグメント利益	694,253	92,888	787,141	—	787,141
セグメント資産	2,392,512	1,061,856	3,454,369	—	3,454,369
その他の項目					
減価償却費	25,048	11,568	36,616	—	36,616
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	19,549	4,866	24,415	—	24,415

当連結会計年度(自平成31年3月1日至令和2年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	キャラクター・エンタテインメント事業	キャラクター・ファンシー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,478,510	2,127,126	6,605,637	—	6,605,637
セグメント間の 内部売上高又は振替高	75	153	228	(228)	—
計	4,478,586	2,127,279	6,605,866	(228)	6,605,637
セグメント利益	551,828	58,138	609,966	—	609,966
セグメント資産	2,514,538	1,387,040	3,901,579	—	3,901,579
その他の項目					
減価償却費	33,035	12,835	45,870	—	45,870
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	68,332	34,847	103,179	—	103,179

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,861,093	6,605,866
セグメント間取引消去	△2,313	△228
連結財務諸表の売上高	6,858,780	6,605,637

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	787,141	609,966
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の営業利益	787,141	609,966

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,454,369	3,901,579
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の資産合計	3,454,369	3,901,579



## 【関連情報】

前連結会計年度（自 平成30年3月1日 至 平成31年2月28日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスごとの営業収入は、取扱い品目が多岐にわたり記載が困難であるため省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客先の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ラウンドワン	1,027,444	キャラクターエンタテインメント事業

当連結会計年度（自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスごとの営業収入は、取扱い品目が多岐にわたり記載が困難であるため省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客先の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ラウンドワン	882,040	キャラクターエンタテインメント事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## （1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 平成30年3月1日 至 平成31年2月28日）		当連結会計年度 （自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日）	
1株当たり純資産額	339.65円	1株当たり純資産額	394.82円
1株当たり当期純利益	82.66円	1株当たり当期純利益	63.04円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在しないため記載しておりません。	

（注）1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成30年3月1日 至 平成31年2月28日）	当連結会計年度 （自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日）
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	690,650	527,473
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	690,650	527,473
普通株式の期中平均株式数（株）	8,354,976	8,367,471

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成31年2月28日)	当事業年度 (令和2年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,072,120	2,272,817
受取手形	30,318	46,245
電子記録債権	225,955	278,584
売掛金	654,074	708,393
商品	199,690	242,604
前払費用	8,782	22,679
前渡金	46,319	57,030
その他	13,885	15,722
貸倒引当金	△207	△215
流動資産合計	3,250,939	3,643,861
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,117	888
車両運搬具	184	—
工具、器具及び備品	12,305	32,062
建設仮勘定	7,418	—
有形固定資産合計	25,025	32,951
無形固定資産		
ソフトウェア	7,384	49,203
その他	4,507	3,609
無形固定資産合計	11,892	52,813
投資その他の資産		
投資有価証券	44,053	44,645
関係会社株式	0	0
前払年金費用	45,901	42,796
繰延税金資産	47,719	55,253
その他	26,245	18,030
貸倒引当金	△12,668	△6,036
投資その他の資産合計	151,252	154,688
固定資産合計	188,170	240,453
資産合計	3,439,110	3,884,314

(単位:千円)

	前事業年度 (平成31年2月28日)	当事業年度 (令和2年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	234,040	290,967
未払金	128,972	107,561
未払費用	27,683	29,636
未払法人税等	106,701	44,110
前受金	13,703	10,240
預り金	3,363	9,433
賞与引当金	19,600	22,260
その他	33,898	23,679
流動負債合計	567,963	537,889
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	—	907
その他	44,641	43,175
固定負債合計	44,641	44,082
負債合計	612,605	581,972
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金		
資本準備金	492,935	494,622
資本剰余金合計	492,935	494,622
利益剰余金		
利益準備金	12,000	12,000
その他利益剰余金		
別途積立金	100,000	100,000
繰越利益剰余金	1,796,891	2,252,107
利益剰余金合計	1,908,891	2,364,107
自己株式	△51,678	△32,184
株主資本合計	2,812,145	3,288,541
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,863	12,684
繰延ヘッジ損益	495	1,115
評価・換算差額等合計	14,359	13,799
純資産合計	2,826,505	3,302,341
負債純資産合計	3,439,110	3,884,314

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成30年3月1日 至 平成31年2月28日)	当事業年度 (自 平成31年3月1日 至 令和2年2月29日)
売上高	6,790,817	6,570,857
売上原価	4,564,921	4,385,658
売上総利益	2,225,896	2,185,198
販売費及び一般管理費	1,449,803	1,581,567
営業利益	776,093	603,631
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	746	894
貸貸収入	1,042	1,245
その他	2,633	661
営業外収益合計	4,422	2,801
営業外費用		
投資有価証券売却損	69	—
その他	1	4
営業外費用合計	71	4
経常利益	780,444	606,428
特別利益		
固定資産売却益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産売却損	162	127
その他	770	0
特別損失合計	933	127
税引前当期純利益	779,515	606,300
法人税、住民税及び事業税	114,155	91,621
法人税等調整額	△13,612	△7,376
法人税等合計	100,542	84,245
当期純利益	678,972	522,055

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自平成30年3月1日 至平成31年2月28日）

(単位：千円)

	株主資本							自己株式
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余金合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	461,997	492,935	492,935	12,000	100,000	1,168,049	1,280,049	△51,564
当期変動額								
剰余金の配当						△50,130	△50,130	
当期純利益						678,972	678,972	
自己株式の取得								△114
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	628,842	628,842	△114
当期末残高	461,997	492,935	492,935	12,000	100,000	1,796,891	1,908,891	△51,678

	株主資本	評価・換算差額等			純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,183,418	22,381	△9,489	12,891	2,196,310
当期変動額					
剰余金の配当	△50,130				△50,130
当期純利益	678,972				678,972
自己株式の取得	△114				△114
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		△8,517	9,984	1,467	1,467
当期変動額合計	628,727	△8,517	9,984	1,467	630,194
当期末残高	2,812,145	13,863	495	14,359	2,826,505

当事業年度（自平成31年3月1日 至令和2年2月29日）

（単位：千円）

	株主資本								自己株式
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	461,997	492,935	—	492,935	12,000	100,000	1,796,891	1,908,891	△51,678
当期変動額									
剰余金の配当							△66,839	△66,839	
当期純利益							522,055	522,055	
自己株式の取得									△26
自己株式の処分									19,520
自己株式処分差益			1,686	1,686					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	1,686	1,686	—	—	455,215	455,215	19,494
当期末残高	461,997	492,935	1,686	494,622	12,000	100,000	2,252,107	2,364,107	△32,184

	株主資本	評価・換算差額等			純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,812,145	13,863	495	14,359	2,826,505
当期変動額					
剰余金の配当	△66,839				△66,839
当期純利益	522,055				522,055
自己株式の取得	△26				△26
自己株式の処分	19,520				19,520
自己株式処分差益	1,686				1,686
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		△1,179	619	△559	△559
当期変動額合計	476,396	△1,179	619	△559	475,836
当期末残高	3,288,541	12,684	1,115	13,799	3,302,341